



熱海殺人事件

作 つかこうへい 演出 中野達仁

時津真人 小山蓮司 井上怜愛 尾崎大陸

八戸
侵出公演

2019年12月18日水 ~ 22日日 スペースベン

	12/18水	19木	20金	21土	22日
13:00				八	八
14:00		八			
18:00				八	
19:00	八		八		

※開場は開演の30分前。

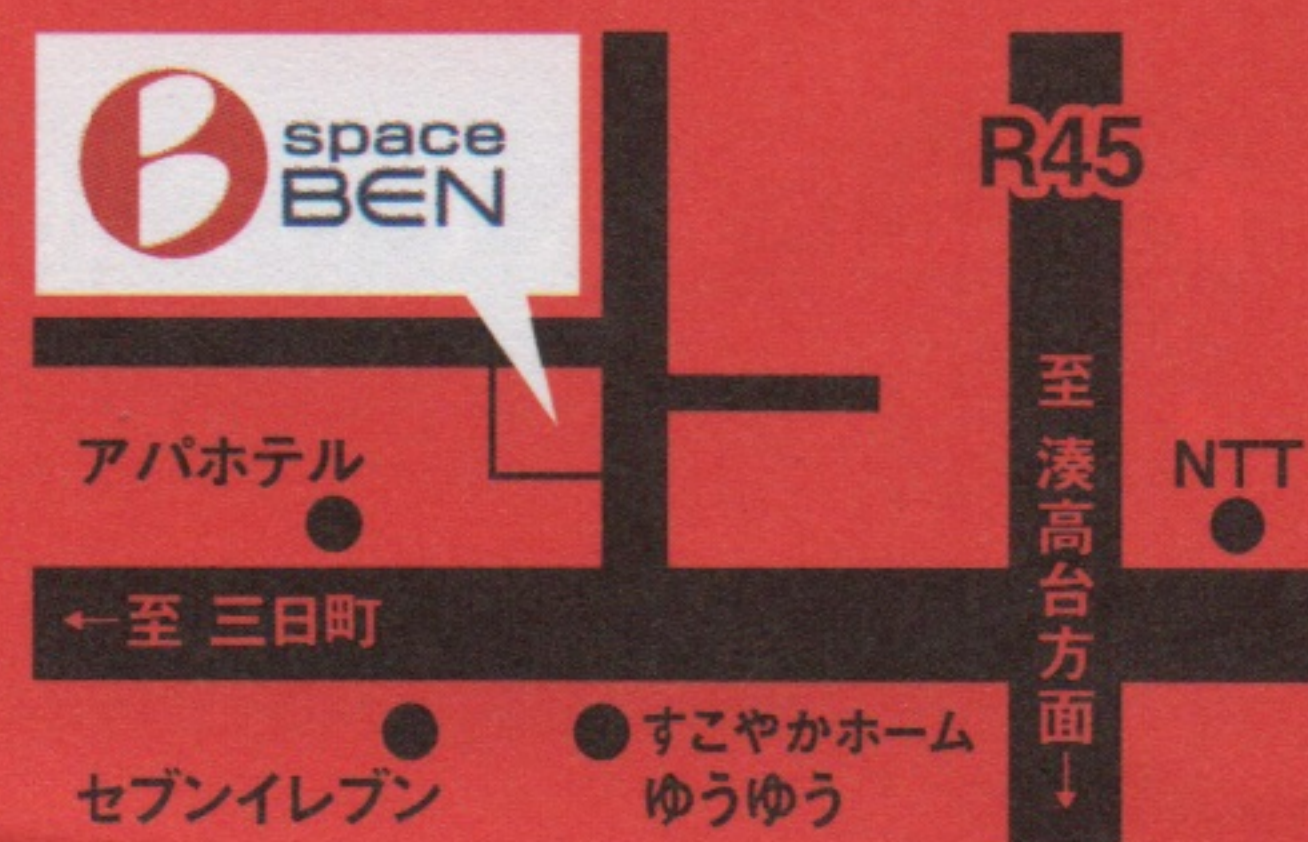
チケット 全席自由・税込

一般 2,500円
学割 1,000円

※学割チケットは
当日受付のみ販売。
要学生証提示。
※未就学児入場不可。

一般チケット発売日 10月12日(土)10時予定

- チケット取り扱い
八戸ポータルミュージアム はっち インフォメーション
- 電子チケットぴあ (Pコード 497-469)
0570-02-9999 <https://w.pia.jp/t/aktstage-atami/>
- ローソンチケット (Lコード 22243)
0570-084-003 https://l-tike.com/akt_stage2019w/
- イープラス
<https://eplus.jp/actstage-w2019/>



〒031-0081 青森県八戸市柏崎1-11-8
TEL 0178-43-9876
HP <https://www.spaceben.com/>
※駐車場はありません。近くのアパホテル
隣に西町駐車場(有料)があります。

熱海殺人事件

一九七三年十一月、藤原新平演出により、文学座のアトリエで初演。翌一九七四年に当時史上最年少で岸田国士戯曲賞を受賞。続く一九七五年にVAN 99ホールでの公演で初めてつかこうへい演出で上演されて以降、物語の骨格はそのままに、時代に合わせて書き換えられ、上演され続けている。初演から様々なバージョンが生みだされてきたが、どの戯曲も一度として固定されたことはなく、

「作家が書けるのは四割だけ、後の六割は役者に書かせてもらっている」

というつかの言葉通り、役者が変わることにより、戯曲は大きく書き換えられてきた。一九九〇年代、決定版と冠された『ザ・ロンゲスト・スプリング』。一九九三年に阿部寛バージョンとも言える『モンテカルロ・イリュージョン』。そして一九九六年には部長刑事を女性に変え、女性蔑視・同性愛者の生き様・在日朝鮮人の問題を取り込み「今、義理と人情は女がやっております」と力強く言い切った『売春捜査官』。さらに一九九八年には部長刑事に石原良純を据え、原発問題を取り込んだ『サイコパス』を上演。二〇〇〇年に入っても阪神淡路大震災や和歌山のカレー事件、酒鬼薔薇事件などを盛り込んだ『ザ・ロンゲスト・スプリング』が帰って来る日』から変化した『平壤から来た女刑事』。そして最後のバージョンとなった『売春捜査官』女子アナ残酷物語』が上演されたのが二〇〇六年。

まさに、つかこうへいが人生を捧げた不朽の名作「熱海殺人事件」★☆北区AKT STAGE八戸侵出公演、お見逃しなく!!



時津真人

小山蓮司

井上怜愛

尾崎大陸

つかこうへい (1948-2010)

劇作家・演出家。慶応義塾大学文学部哲学科中退。大学在学中からアングラ劇第二世代の劇作家・演出家として活動を始め、「つかこうへい以前(第一世代)」、「つかこうへい以後(第三世代)」と呼ばれる程の一時代を築き、1970年代から1980年代にかけて一大「つかブーム」を巻き起こした。没後9年経っても今尚、演劇界のカリスマ的存在。

- 1974年「第18回岸田国士戯曲賞」を当時最年少の25歳で受賞。(戯曲『熱海殺人事件』)
- 1982年「第86回直木賞」を戦後生まれ初(当時33歳)で受賞。(小説『蒲田行進曲』)
- 1983年「第6回日本アカデミー賞(最優秀脚本賞)」受賞。(映画『蒲田行進曲』※全7部門で最優秀賞受賞)
- 1990年「第42回読売文学賞」受賞。(戯曲『飛龍伝'90 殺戮の秋』)
- 2007年「紫綬褒章」受章。
- 2010年「旭日小綬章」受賞。(追贈)
- 他、受賞多数。

1990年『娘に語る祖国』(光文社)で在日韓国人二世であることを公表し、ベストセラーとなる。現在も芸能界の第一線で活躍する数多くの人気俳優を輩出し、小説は多数映画化され大ヒットを連発。2010年他界(62歳)。



撮影 土屋勝義

★☆北区AKT STAGE

「★☆北区つかこうへい劇団※」を前身団体とし、2012年に劇団名を新たに再スタート。劇団員総勢31名。つか作品を中心に、東京都北区の北とびあをホームシアターとして定期的に公演を行っている。また、演劇とダンスを通じて子供たちの運動能力と表現力を培うという主旨の元1998年に開設された児童教室も引き継ぎ、創作活動を通じて子供たちにも演劇の楽しさを広め好評を得ている。

※★☆北区つかこうへい劇団…1980年代のバブル全盛期、全国には立派な劇場(ハード)ばかりが建てられ、稽古場という地味な部分(ソフト)に出資する企業は皆無だった。そのため役者を育てる場が無いというつかこうへいの嘆きに、東京都北区がJR田端駅前のホールを稽古場として年間無料提供することを発表。1994年4月、日本初の行政のバックアップの元で劇団養成所が開校し、大きな話題となった。正式劇団員として、高田万由子、石原良純、小西真奈美、内田有紀、黒谷友香、黒木メイサ、成河(ソノハ)などが在籍した。脚本家の秦 建日子(『アンフェア』他)は演出コース第1期生。